

2009（平成 21）年度 東京大学 入試問題 第 1 問 解答例

一

人間は、情報の不可逆的な仕上げと始末へと向かう際、大きな変容となり得る表現の微差に執着する美意識が働くということ。

*構文＝「人間にはAを前にしてBという心理が働く」の正しさは、必須。

二

不可逆的な定着の成熟さを望む美意識は、白い紙への不可逆な固定というイマジネーションを暗黙の前提とするということ。

三

不可逆な過失の累積への呵責の念が、完成度や洗練への美意識を促進し、紙メディアを主とする文化を育んできたということ。

*主題「いざなう推進力」＝不可逆な・過失の累積を・呵責の念で把握することが・「加速させる」（置換）

四

ネットというメディアで無数の人々が受ける情報は、価値観や美意識がなく、共有の知として無限の更新を続けるということ。

*「文体を持たないニュートラルな言葉で」＝価値観や美意識が存在しない（情報）

五

白い紙に記す不可逆性は完成度や洗練を求める人間の文化に関する美意識を生み出した。白という感受性により不可逆な状況で不完全さを超克し、失敗への危険に臆さず潔く発する表現の強さは感動の根源となり、諸芸術の感覚を鍛える暗黙の基礎となるということ。（一二〇字）

六 a 吟味 b 器量 c 真偽 d 回避 e 成就